

No.2035 エルメンドルフ引裂度試験機

引裂度とは紙を両手の指先にて持ち、これを互に反対の方向に引き裂くときの抵抗する強さを表します。扇型振子を一定の高さより振り下して試料を引き裂き、その時のエネルギーの損失量を目盛板により読み取り、引裂度とします。試料の強さにより枚数を1枚から16枚にて測定し、基本枚数16枚に換算して引裂度の数値と致します。

試料寸法	縦63mm 横50～75mm
試料枚数	基本枚数16枚 (目盛の20～80%の範囲に入る枚数で測定する)
試験引裂長	43mm
試験切込長	20mm
参考規格	JIS P-8116-2000, TAPPI T414om-98, ISO 1974
外形寸法	500×240×360mm
重量	15kg



引裂強さ

No.2036 荷重引裂度試験機

本機は No.2035 で測定できない段ボール原紙、ルーフィング、織布等の引裂度を試験するもので、振子の中心に付加重錘を取付け、振動エネルギーを倍加しています。操作は同様で、試料を引き裂き、振子上の目盛板にて読み取ります。

容量	0～1000、0～2000 (試料16枚の時の1枚当たりの目盛)
参考規格	JIS P-8116-2000, TAPPI T414om-98, ISO1974
外形寸法	500×240×360mm
重量	17kg

